

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第2回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

○ 二貫寺の森の活用について

- 1) 前回会議の振り返り
- 2) 自主的審議の方向について

3 開催日時

令和4年7月14日（木） 午後7時から午後8時25分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：川上 奈津子、川上 久雄（会長）、川室 光昭、西嶋 明子、服部幸雄、
星野 実、堀川 悦郎、山岸 真也、山田 勝也、山田 哲平（副会長）
(欠席2人)
- ・ 市役所：農林水産整備課 伊藤主事
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務

めることを報告

【川上会長】

- ・会議録の確認：星野 実委員に依頼

次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「1) 前回会議の振り返り」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料1に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「1) 前回会議の振り返り」を終了する。

次に次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「2) 自主的審議の方向について」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料2に基づき、説明

【農林水産整備課 伊藤主事】

- ・二貫寺の森の入口の看板及び園路の案内表示について説明

【藤井係長】

- ・引き続き、資料2に基づき説明

【川上会長】

今ほどの農林水産整備課の説明に質疑を求める。

【堀川委員】

入口の看板については、すでに計画が進んでいるとのことである。以前から、看板を直して欲しいという意見が出ていて、私もそう思っていたが、説明のプランでは私のイメージと少し違うと思う。

説明にあったプランで進めてよいのだが、前回の会議の話だと「看板が見えづらい」という話だったと思う。そのため、あまり予算をかけずに、これまでと同じ大きさの看板を作成することは結構だが、同サイズの看板はやはり見えづらいと思う。

周辺をかなり整備しなければ、看板自体が目立たないと思う。

すでに企画が始まっているのであれば仕方ないが、前回、入口の看板にもう少し予算をかけてほしいと意見した。

【川上会長】

この看板はまだ何もできていない。説明の内容はイメージだけであり、大きさ等も決まっていないと思うが、農林水産整備課ではある程度イメージはしているか。

【農林水産整備課 伊藤主事】

既存の看板の「二貫寺の森」という文字が擦り減っており、外から見ても、おそらく何と書いてあるのか分からないと思う。そういったところに、再度塗料を塗り、分かりやすくするといったイメージで話をさせていただいた。

そのため、別の何かを新しく作るというところまでは考えていない。とりあえず今は、入口の看板を塗り替えるイメージで考えている。

【川上会長】

今ある看板を基に色を塗り直して綺麗にするということか。

【農林水産整備課 伊藤主事】

そうである。

【川上会長】

先ほどの堀川委員の発言は、看板を立てる場所や周辺の整備についてである。結局、木が生い茂っていて見えない、道路から見えづらい等があるため、もう少し考えて、取り付けてほしいということだと思う。

【農林水産整備課 伊藤主事】

現在、看板の近くに草が生い茂っている状態である。今の草刈り業務には看板近くの除草は入っていないため、再度検討したいと思う。

【堀川委員】

入口の看板に関しては、このまま意見書を出さなくてもよいということなのか。

【小林センター長】

もし地域協議会として、今回取り付ける看板では不足であり、新しい看板を付けてほしいということであれば、それは意見書という話になる。それは地域協議会の中で「どういう看板が欲しいのか」を決めていく作業になると思う。

【堀川委員】

それであれば、意見書を出せば、新たな看板を作っていただけの可能性があるということでしょうか。

【小林センター長】

「可能性がある」という話で、「必ず付く」というものではない。これは前に説明した「取組み」の中でお伝えしたとおりである。

ここまで、農林水産整備課の取組みと事務局で用意した資料についての説明があった。これより少し補足したいと思うがどうか。

(よしの声)

少し遠回しな話になるが、上越教育大学の吉田先生は地域振興について研究していて、まちづくりの先行事例を随分ご存知の方である。この方の講演に、まちづくりの成功の秘訣は、できるところから始めるという話があった。

そういうところからすると、今の看板の話は、既決の予算内でできるところからやっているわけで、吉田先生の話に当てはまる。

資料2で考えると「看板の整備」に丸が付いている。「これはできる」という実績ができた。今度は自信を持って「何をしたいのか」を考えてほしい。

施設の整備は、委員から多くの要望があった。ぬかるみ対策や看板など、二貫寺の森の現状から当然のことだと思う。「あれがないから人が来ない」「看板があれば人が来る」といった設備の不備が先行してしまう。そのため、今までに出た整備のアイデアと解決方法を、資料2で図解したのである。

注意すべきは、資料に管理する人材・運営する団体と書いてあり、まちづくりに貢献するソフト事業を考えることが、地域協議会の本筋だということである。

【川上会長】

今の説明は、農林水産整備課からの話と、資料2の話が一緒になってしまったが、最初の農林水産整備課の説明についての意見集約に戻す。

既に小学校との話し合いが進んでいるため、それはそれでよいと思う。しかし堀川委員から、あの看板では不足だという発言があり、同様に思う委員もいると思う。

確かに、「ここに二貫寺の森がある」と外から見て分かる看板も欲しいと思うが、それは予算が関係してしまうため、今すぐにやることは非常に厳しいと思う。その

ため、説明のような看板を作り、その後「もっと見やすい看板を作ってほしい」という意見書を出すことはできる。今すぐに「よい看板を作ってほしい」ということは難しいことを理解いただきたいと思います。今は「みんなでやろう」という話で進んでいるため、それはそれで進めたいと思うがどうか。

【堀川委員】

私の考えとは少し違っている。私は、何かやりたいと思って意見書を出したい。何が何でも「看板を作ってほしい」ということではなく、どの程度予算があるか確認し、できることをまずやっていきたい。そのために意見書の提出を希望している。

【川上会長】

意見書を出すことについては、今後、改めて話し合ってはどうか。既に看板の整備について、小学校の児童たちが進めているので、ストップするわけにはいかない。その辺りは理解いただきたい。

【堀川委員】

児童が作っている看板をストップさせる意味ではない。前回の意見交換会では、「整備が必要」という声が一番多かったと思うので、意見書を出して何かを整備するか、意見書も出さずにできることをやっていくのかを聞いている。

【川上会長】

「看板作り」「沿道の案内板作り」には、ぜひ委員からも協力いただきたいと思います。

どのような案内看板を作ってほしいのかを、地域協議会として話し合い意見書にまとめるようにしたい。

結果的に良いものになるかもしれない。このまま看板作りを進めていただいたい。

他に質問等あるか。

(発言なし)

私から質問である。小学校とは、どのような話し合いをしているか。

【農林水産整備課 伊藤主事】

夏休み明けの9月から「どういうデザインの看板にしたいか」を考えていただき、その中から看板づくりに必要な材料を建築業者と協力しながら準備する。小学生が色を塗る前の必要な加工は、地域協議会と農林水産整備課で時間を取って協力したい。最終的に小学生が絵の具で絵を書き、完成したものを地域協議会と農林水産整

備課、小学校の人たちと一緒に、実際に現場に設置するという流れで考えている。

【川上会長】

地域協議会を含めた地域の人たちの協力で設置したいとのことである。制作に関わるのは時間的に難しいが、最後の設置は協力したいと思う。夜ではなく昼間の作業で、平日か休日か、曜日は分からないが、協力できる委員が設置したいと思う。

他に質問等あるか。

(発言なし)

次に資料2について、表のどの部分から話を進めていけばよいか意見等を求める。

(発言なし)

先ほど小林センター長から話があったが、ハード事業は時間もなく、予算要求も難しいと思う。その辺も考えながら、どのように進めるのか話していきたい。

現状は、プランA「看板の整備」について話が進み、パターン1の「地域団体への協力」で、地域協議会も含め地域住民の協力で最終的に設置することとしている。

パターン3の「意見書の提出」は、今後、話し合っていきたいため、検討材料にしたいと思う。それ以外のプランB・C・Dについて、何かあるか。

これからとなるとパターン2の「元気事業」については厳しいと思う。急に話が進めば別だが、現実的には厳しい。その辺も含めて意見を求める。

【小林センター長】

堀川委員から「意見書の提出」について発言があった。ここまでの話を聞いている限り、整備が進まなければ、前に進めない気持ちは一致していると思う。そのため「意見書の提出」をまず考える。注意すべき点は、意見書を出すにしても「看板が欲しい」だけではなく、「事業を実施するため、必要な整備として、こういったものが欲しい」といったストーリーがあると話は通りやすいと思う。整備した場所の管理や活動団体を、具体的に話していくと方向性が決まってくると思う。

私から話をすることも差し出がましいが、補足として聞いていただきたい。

【川上会長】

プランA・B・Cは一貫性があると思う。看板だけではなく、看板周辺の整備も入っている。

基本的に管理棟からともだちハウスがあるメインの園路が、雨が降るとぬかるみ、

非常に歩きづらい。奥まで進む気にはならない。そのため、プランA・B・Cを一貫したストーリーとして意見書を提出する方法もあると思う。

そのほか、二貫寺の森で何かイベントを実施する方法もよいと思う。

資料2の審議Ⅲの「企画・資金」は、それをやってくれる人材を探さなければならぬため、面倒であり少し時間がかかる気がする。

私はプランA・B・Cを意見書としてうまくまとめて、市に最低限の整備をお願いできないかと思う。それによって二貫寺の森で何かできればよいと思う。

以前から言われているように、利用者が少ないと整備の予算が付かないこともある。だが、それを言っていては何もできないので、いかに私たちのアイデアで二貫寺の森をPRするかである。

山田副会長、何か意見等あるか。

【山田副会長】

二貫寺の森については、これまでずっと審議をしてきたので、引き続き審議していくことは大事だと思う。

だが「二貫寺の森をこうしたい」という意見は、地域協議会だけで話を進めている状況である。予算の話になってくると、諏訪区の人たちの賛同を本当にいただけるのかが一番心配なところである。

ボランティアで寄付を募るのではなく税金を使うとなると、地域協議会で決めたことに対して、諏訪区の住民から「なんだそれは」という意見が出てくる可能性がある。

それを踏まえ、諏訪区の住民から意見を聞く方法を取ってみてもよいと思う。具体的にはアンケートを取って、地域協議会の思いに対して、賛同がいただけるかを聞く。一部の人で決める話ではなく、民主主義的にアンケートをとって進めることも手段の一つである。

【川上会長】

諏訪区の住民が、二貫寺の森に対してどの程度の思いがあるか、魅力を感じているか、ぜひ聞いてみたい。他地区の住民より強い思いはあると思うが、地域協議会だけで漠然と話し合っているのは、実際にどうなのかは分からない。山田副会長の意見に対する質問等はあるか。

(発言なし)

二貫寺の森にどういった魅力があるのか。藪化しているため行きたくないといった話もあったが、二貫寺の森にしかないような珍しい植物や動物・昆虫がいれば別だとは思う。それを探し出すことも一つの方法ではないか。

現実的な方法として、二貫寺の森で何か定期的なイベントを行うことも方法であるが、それは先の話である。

少し元に戻るが山田副会長の発言にあった、諏訪区の住民を対象にアンケートを取ってみる。地域住民から「そんなところに予算をかけてどうするのか」といった話が出れば、先に進まず、違う審議をしなければならないが、一つの手段である。

西嶋委員は看板作りの話にも関わっているため、何かあれば発言願う。

【西嶋委員】

二貫寺の森に関わる人には大変魅力がある場所だが、そうではない人たちからは否定的な意見は出てくるかもしれない。山田副会長の発言のように、地域住民の賛同が得られないかもしれない。ある町内会長から、子どもの頃はよく二貫寺の森で楽しく遊び、飯田川で魚を獲った話を聞いたが、昔からあった自然は大事にしていきたい。一部の人の思いで二貫寺の森を整備してよいものか不安や疑問はある。

アンケートを取ることはよいが、半分以上の住民から「そんなことはしなくてもよい」との意見が出た場合の不安も少しある。

【川上会長】

地域住民の意見を集めてから話し合いをすると、また元に戻ってしまう気もする。ここまで話が進んでいるため、アンケートをしなくてもよいという意見もあるかもしれない。

【堀川委員】

確かに、地域住民の意見を聞くことは、大事なことだと思う。そして、半分以上の住民より否定的な意見が出る可能性もあると思う。ただ、すでに進んでいるプランもあり、できることから行っていくことが大前提である。看板を作ったからといって、すぐに集客が上がるとは思っていない。おそらく看板を設置しただけでは今の状態と変わらないだろう。

だからこそ、市に意見書等を出して整備という方向にもっていききたいのである。

【川上会長】

プランA・B・Cをまとめて意見書として提出してはどうか、という意見である。

予算要求ができれば一番よいが、時間的に今からでは大変厳しい。そして元気事業を行うにしても、今から動いてくれる団体を見つけて進めていくことも厳しいが、意見書として出すことはできると思う。

まずは最低限、二貫寺の森に入るまでの間に分かりやすいものを作ってほしい、道路だけは整備してほしい、ということ意見を意見書に書くべきだと思う。「利用者が少ない」からできない、ということでは何もできない。

【堀川委員】

二貫寺の森は市の森である。本日は農林水産整備課の担当職員も来ているが、現状として、どのような印象があるか。

【農林水産整備課 伊藤主事】

私は3年前に入庁したが、地元が市外であるため、二貫寺の森に来たことも初めてだった。当時から看板は既に播り減っていて、入口が分からないと第一印象で感じた。管理棟等の先は草刈りもされておらず、藪化が確かにひどいと思った。

【堀川委員】

そういう状況はそのままでよいのか。

【農林水産整備課 伊藤主事】

このままではおそらく駄目だと思う。それをどうするか話し合うのが、この場だと思っている。二貫寺の森をどういう姿で、どういうふうにしたいのか、というところが見えて、初めて「何をすればよいのか」が出てくると思う。

現段階では新しいことをする予算がないため厳しいが、そこが見えてくれば、「こういったビジョンがあるため、こういうことがしたい」と予算要求に向かえる。時間はかかるかもしれないが、こういった場を大切に議論を続け、必要な予算要求は行いたいと思う。そして、予算をかけずにできるものがあれば同時に進めていきたい。

【川上会長】

まずは「ここに二貫寺の森がある」と分かるように綺麗していれば一番よい。

実際、予算を幾らでもかけるわけにはいかない。意見書の提出には、看板・整備

を含めて二貫寺の森をどのように活かしていきたいのかを、まとめていかなければならない。時間をかけ、じっくりと話し合っていかなければならない。

意見書は予算要求ではないので、率直な意見をまとめて、ストーリーにして、市が納得できるように仕上げれば、整備に結びつくかもしれない。

【堀川委員】

今年に入って二貫寺の森に数回行っているが、いつも目にするのは、西嶋委員らの努力により、公民館事業等で様々なイベントがされている。私はそれを絶対に無駄にしたくない。

ただ、なかなか参加者が集まらないという状況も聞いている。改善するためには、「どうすればよいのか」「まず何ができるのか」を考えれば、看板くらいは新しいものに変え、それから看板の周辺を整備について意見も出てくる。

【川上会長】

確かに、公民館活動で年間、何度か巣箱作り等を行っている。

【西嶋委員】

公民館事業では、わくわくウォッチングで年 3 回、3 地区合同の青少年事業で 1 回、すわっ子クラブで子どもたちを対象に、今年は 2 回くらい地域活動をする予定である。

【川上会長】

それ以外にも、市の事業で定期的にやっている。これからも続けてほしい。

それと同時に、実際に参加している子どもたちから「二貫寺の森を整備してほしい」「こうしてほしい」といった話があればよいと思う。

次回から、活動終了後の反省会で森についての意見を聞き取りし、地域協議会に知らせてほしい。

まずは予算を取れるように、二貫寺の森が魅力的と思われなければならない。それに対して、最初は看板・周辺の整備、園路のぬかるみだけでも、よくしていただき、色々な行事を行って多くの人を呼び込みたいと思う。今後、意見書にまとめていくかたちで進めていくか。

【藤井係長】

山田副会長より地域住民を対象としたアンケート、堀川委員より意見書の話など

のいろいろな意見があった。いずれも二貫寺の森は今後どのような使われ方をしてほしいかが根本にあると思う。

それによって、誰に手伝ってほしいのか、どのような設備が必要なのか、もしかするとイベント等が具体的な表れ方なのかもしれない。

そのため、意見書を出すか否かということを決め切らずに「どういう姿を作り上げたいのか」を話し合うことがよいと思う。

そして、どういう姿を作り上げたいのか、について地域住民に意見を聞いてもよいと思う。ただ漠然と聞いてしまうと、最初に戻ってしまい収集もつかないかと思うため、見定めて少し方向性を考えられる中で、聞くこともよいと思った。

継続の審議として、引き続き方向性・活用イメージを具体化していけると個人的にはよいと思った。

【川上会長】

全員で話し合っていると、まとめるのが大変で元に戻ってしまう感じである。今後、どのように話をもっていけばよいと思うか。

資料2に示してあるように、プランA～D、そしてパターンⅠ～Ⅲとあるわけだが、これに沿って行うのか、そうでなければ二貫寺の森をどういうふうに利用していきたいのかに話が戻ってしまう気がする。

【星野委員】

堀川委員の発言にあったように、今の活動をなくしたくない。そのために道路の補修や看板の修理や整備を行っていかなければ駄目だと思う。その上で、集客するための対策等を行っていけばよいと思う。

【川上会長】

農林水産整備課に確認である。

現在、看板周辺の草刈りを今後検討していただけるか。最低限の草刈りはお願いしたいと思う。

また、園内に看板を設置との話だが、この周辺の園路だけでも最低整備してほしいと思っている。春先は草が伸び出し、道が分からない状況になってしまう。様々な行事をするために最低限、看板の設置を予定しているラインだけでも園路の草刈りをお願いしたい。

話が戻ってしまうが、今後の話し合いはどうかたちにもっていけばよいか。

【小林センター長】

本日いただいた意見を事務局で取りまとめ、正副会長と相談の上、次回の会議で示したいと思う。

【川上会長】

最初の頃は、「二貫寺の森でどういったことがやりたいのか」といった話をしてきたが、それがいつの間にか整備の話になってしまった。

本来、二貫寺の森で何をしたいといったイメージが各自あったと思う。それも含めて、どういうふうに持っていきたいのか道筋を考えて、次回の会議で発言してほしいと思う。

以上で次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」を終了する。

次に次第 2 議題「(2) その他」に入る。本日の議題に関して、何かあるか。

(発言なし)

最後に次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・ 次回の協議会について説明

【川上会長】

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：8月25日（木）午後7時から 諏訪地区公民館 集会室
- ・ 内容：自主的審議について

最後に、全体を通して何かあるか。

(発言なし)

農林水産整備課に確認するが、看板作成について予算額は決まっているか。

【農林水産整備課 伊藤主事】

決まっていない。学校側のアイデアの出方による。

【川上会長】

アイデアの出方によっては、活動の縮小もあるということか。

【農林水産整備課 伊藤主事】

そういうこともある。

【川上会長】

よいものができるよう、協力を願う。

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。